

市有財産の状況

土地
3,435,525.70㎡

建物
574,728.42㎡

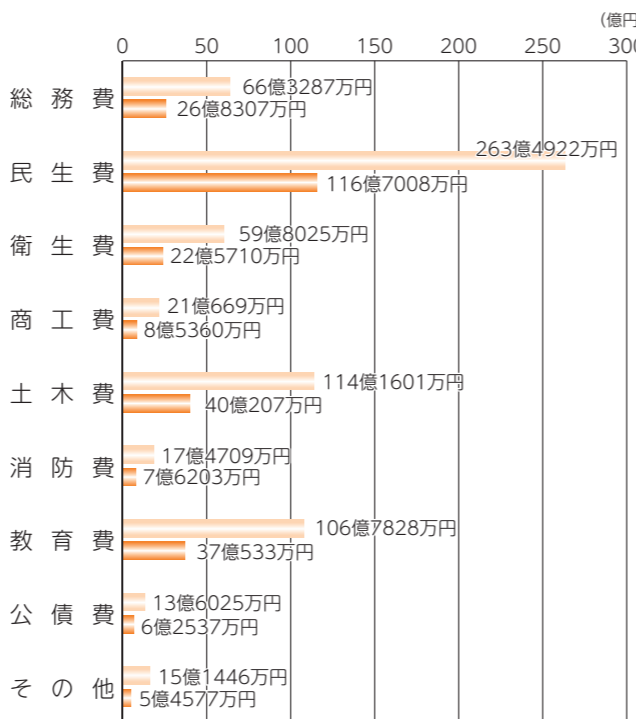
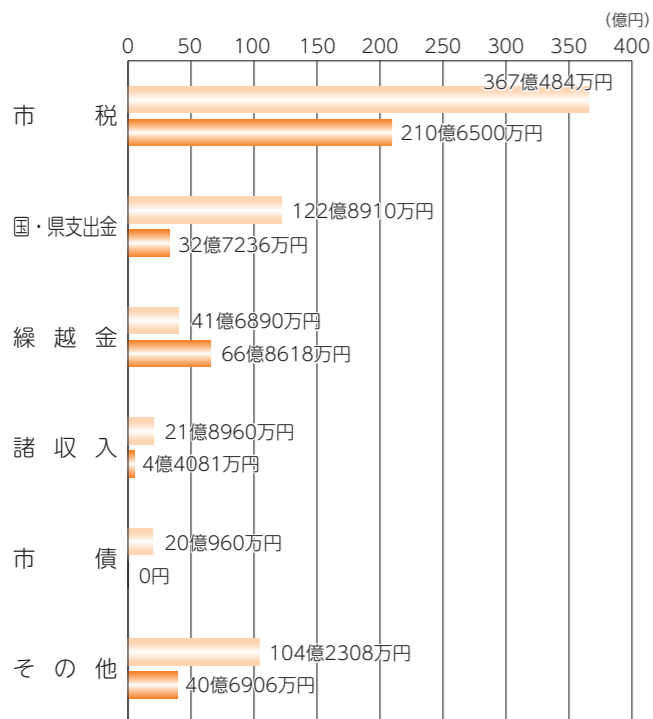
基金
241億6222万円

◆一般会計（歳入）

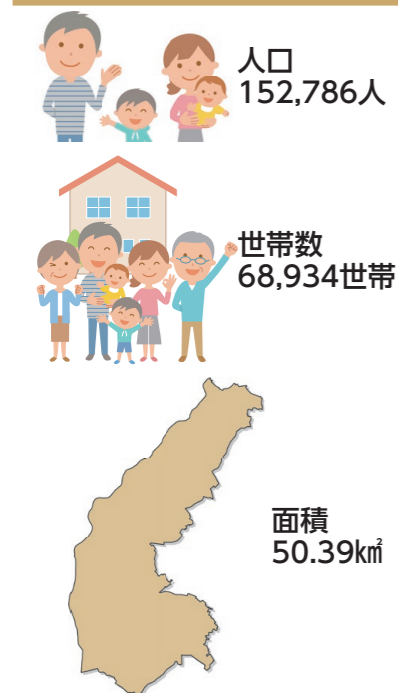
予算現額 677億8512万円
収入済額 355億3341万円
収入率 52.4%

◆一般会計（歳出）

予算現額 677億8512万円
支出済額 271億442万円
執行率 40.0%



◆基礎数値◆



◆特別会計

会計区分	予算現額	収入済額	支出済額
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	8億7227万円	7億7638万円	1017万円
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億9110万円	1億5358万円	2102万円
国民健康保険	115億8563万円	46億3055万円	42億9743万円
後期高齢者医療	22億299万円	7億5012万円	4億6243万円
介護保険	101億628万円	48億2750万円	38億2456万円

◆企業会計

区分	項目	予算現額	執行額
水道事業	収益的収入	28億8353万円	9億6654万円
	資本的収入	5億2293万円	3337万円
水道事業	収益的支出	31億7973万円	7億8918万円
	資本的支出	14億2189万円	1億8854万円
下水道事業	収益的収入	36億1335万円	15億1285万円
	資本的収入	22億7801万円	9億988万円
下水道事業	収益的支出	36億1331万円	6億73万円
	資本的支出	31億4380万円	20億7557万円

※各項目は、一部端数調整したものを除いて、表示単位未満を四捨五入しています。

令和5年度 上半期

財政状況

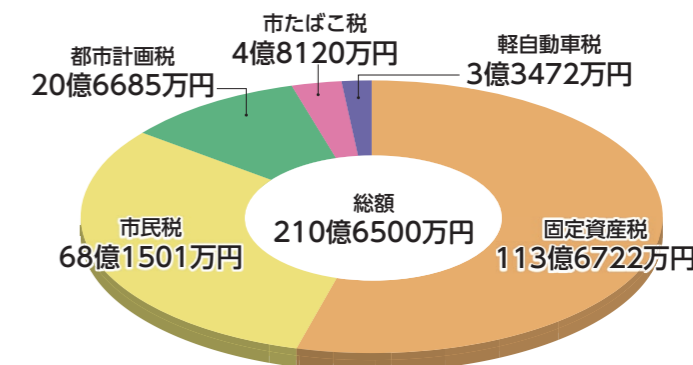
(9月30日現在)
問 財務課(☎62-1006)
ID 1004552

市では毎年6月と12月、税金がどのように使われたかをお知らせするため、一般会計、特別会計、企業会計の財政状況を公表しています。

市税の負担状況

1人当たり
137,873円
1世帯当たり
305,582円

市税収入済額内訳



市債の状況

◆一般会計

借入目的	現在高
総務債	8億9789万円
民生債	7億3927万円
衛生債	6782万円
土木・公営住宅債	8億2404万円
教育債	59億7975万円
その他	5億6479万円
計	90億7356万円

◆特別会計

会計区分	現在高
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	397万円

◆企業会計

会計区分	現在高
水道事業	31億1594万円
下水道事業	153億15万円
計	184億1609万円

健全化判断比率・資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、地方公共団体は毎年度、財政状況をチェックするため健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率を算定し、公表することとなっています。そこで、市の4年度決算に基づく数値をお知らせします(表中の「-」は、実質的な赤字、将来負担、資金不足が発生していないことを表しています)。

◆健全化判断比率 (単位：%)

指標名	刈谷市	早期健全化基準
実質赤字比率	-	11.53
連結実質赤字比率	-	16.53
実質公債費比率	△1.9	25.0
将来負担比率	-	350.0

◆資金不足比率 (単位：%)

公営企業会計名	刈谷市	経営健全化基準
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計	-	20.0
刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計	-	
水道事業会計	-	20.0
下水道事業会計	-	

実質赤字比率 一般会計などが黒字か赤字かを示す指標
連結実質赤字比率 全会計で見た場合の黒字か赤字かを示す指標
実質公債費比率 一般会計などが負担する公債費の比率を示す指標
将来負担比率 一般会計などが将来負担すべき負債の比率を示す指標
早期健全化基準 財政健全化への取組が必要となる基準値

資金不足比率 企業の経営が黒字か赤字かを示す指標
経営健全化基準 財政健全化への取組が必要となる基準値

総評…全ての指標で基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。